

## 8. 今後の推進に向けて

今後市が国立駅周辺まちづくりを推進していくにあたっては次の点に留意していく必要がある。

### (1) 市の計画に向けた調整

国立駅周辺まちづくり検討会の提案を受けて、今後その内容を最大限生かすことができるように、市内部での検討や東京都や JR などの関係機関等と調整を行い、市としての整備計画を策定していく必要がある。策定にあたっては、厳しい財政状況の中、中長期の財政計画における市の総合的な施策とのバランスを踏まえて整備の優先順位を決定していく必要がある。

### (2) 国分寺市等との連携

国立駅北口の整備、高架下の活用、都市計画道路整備に関して特に国分寺市との連携をもとに整備を行っていく必要がある。

また連続立体交差事業に関する調整協議や高架下のゾーニング協議にあたっては沿線 6 市との連携を密にして臨むべきである。

### (3) 具体的な整備計画作成にあたっての調査、検討

今後の具体的な整備計画等の作成にあたっては、交通に関するシミュレーションや市民意向の把握等詳細な調査を実施するとともに、財政負担に配慮した整備手法の検討を行なう必要がある。

### (4) 市民への情報提供と市民との協働

国立駅周辺まちづくりに関しての関係諸機関との協議やまちづくりの進行状況について市民へ情報提供していくとともに、今後の整備計画の内容が広く市民に認知されるよう努める必要がある。また引き続き市民と協力して駅周辺まちづくりを進めていく上で市民や商工関係者及び駅周辺関係団体代表等による協議体制を作っていく必要もある。